製品安全データーシート(SDS)

1. 製造者および販売者情報

製品名:サンマテラーアクア

製造元・販売元:サンキ化工株式会社

〒157-0073 東京都世田谷区砧 3-31-16-204

電話番号: 03-5727-9181

FAX. 番号:03-6796-3181

緊急連絡先:本社

電話番号:03-5727-9181

推奨用途及び使用上の制限:建築・土木用のコンクリート含浸材

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:分類対象外

健康に対する有害性:

急性毒性(経口) 分類できない

急性毒性(経皮) 分類できない

急性毒性(吸入:気体) 分類できない

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分 3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2

皮膚感作性 区分 3

呼吸器感作性 分類できない

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 分類できない

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 分類できない

水生環境有害性(慢性) 分類できない

GHS ラベル要素:

絵表示又はシンボル:

注意喚起語:危険

危険有害情報:

飲み込むと有害のおそれ

強い眼刺激

皮膚刺激

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。指定された個人用保護用具を着用すること。取扱後は流水で十分に手を洗うこと。

【応急措置】

気分が悪い時は医師の診断・手当を受けること。飲み込んだ場合:気分が悪い時は医師に連絡すること。飲み込んだ場合:気分が悪い時は医師に連絡すること。皮膚又は髪に付着した場合:汚染された衣類をすべて脱ぐ、または取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚刺激が生じた場合:医師の診断・手当を受けること。眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合:医師の診断・手当を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。歓喜の良い場所で保管すること。直射日光や高温になる場所を避け、冷暗所で保管すること。

【廃棄】

廃棄する時は、適用法令および製品特性に従い、適切な処理及び廃棄施設に内容物・容器を廃棄すること。

【GHS 分類に該当しない他の危険有害性】

なし

【重要な徴候及び想定される非常事態の概要】

重要な徴候:データなし

非常事態の概要:データなし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分:混合品

化学特性:シリケート

含有成分:

No	成分名	CAS No.	含有率(%)	PRTR 法
1	シリケート	1344-09-8	2.0～3.0	非該当
2	水	7732-18-5	97.0～98.0	非該当

4. 応急措置

吸入:空気の新鮮な場所へ移し、暖かくして休ませること。その間、何も飲食しないこと。

皮膚に付着した時:着衣を脱ぎ、付着個所を石鹸水で十分に洗浄すること。付着した衣服や靴も洗い流す。

目に入った時:15 分以上冷水で洗い流し、即医師に手当てを受ける。コンタクトレンズは外すこと。

飲み込んだ時:大量の水/牛乳を飲んで薄め、直ちに医者に相談すること。体を休め、無理に吐き出そうとしたりしないこと。
口の中に入った場合、飲み込まずに口に水を含みすすいだ後に吐き出すこと。

医師に対する特別な注意事項:症状に応じて処置すること。

急性及び遅発性の最も重要な兆候/症状

症状:対処療法及び支持療法

危険:データなし

5. 火災時の措置

消火剤:水、粉末、泡等周辺の火災に適した消火剤

防護用具:防護用マスクを使用すること。

6. 漏出時の措置

作業員について:第8項の安全管理上の保護用具を着け、目に入らないようにすること。

環境保護策:施工に際しての汚れは水で洗い流してもよいが、残材をそのまま下水道または川に流さないこと。

施工後の措置:施工後の機材は、廃棄処分用の容器に入れること。

使用器具に付着したサンマテラーアクアは拭くか、こすり落とすかし、それでも落ちない場合は水で拭きとること。

7. 取り扱い及び保管上の注意

スプレーによる使用の際は、必ず防護マスクを着用し、その飛沫を吸い込まないように注意すること。

食物に付着させないように注意すること。

施工中ならびに塗膜硬化中の場所で飲食しないこと。

ぜんそくや皮膚が敏感な人は作業に従事しないこと。

換気の不十分な場所での施工には防護マスクを着用すること。

第 8 項に従い防護処置をとること。

保管:容器は常に蓋を硬く閉じて縦向きに保管し、使用中にのみ開缶すること。なるべく元の容器のままで保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

吸入:第7項参照

スプレーによる施工には作業員並びに参観者も保護マスクを着用すること。

手:ビニール、ネオプレンなどの浸透性のない作業用手袋を着用すること。

眼球:飛沫が目に入らないように防護メガネを着用すること。

皮膚:綿、または化繊のツナギを着用すること。作業着を脱ぎ、皮膚に付着したものを石鹸水により十分に水洗いすること。

9. 物理的及び化学的性質

外観:液体/透明色

臭気:パラフィンのような微かな臭い

引火点:引火性なし

沸点:100℃

着火点:着火点なし

融点:－0℃以下

蒸気圧:情報なし

比重:1.0-1.05(20℃)

通常の保管状態下では安定している。※第7項【取り扱い並びに保管】を参照のこと。

10. 安全性及び反応性

安定性:安定である

自己反応性・爆発性:なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入:気体):分類できない

急性毒性(吸入:蒸気):分類できない

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:区分 3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分 2

皮膚感作性:区分 3

呼吸器感作性:分類できない

生殖細胞変異原性:分類できない

発がん性:分類できない

生殖毒性:分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露):分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露):分類できない

吸引性呼吸器有害性:分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境急性水害性:データなし

水生環境慢性有害性:データなし

残留性・分解性:自然の微生物により容易に生分解される(99%以上減少:BOD)

生体蓄積性:データなし

土壌中の移動性:環境中では水に溶解し、容易に移動する。

オゾン層への有害性:データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法:川や下水に放棄せず、産業廃棄物処理規定に従って容器共に処理すること。

汚染容器及び包装:データなし

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号:UN 3266 (N.O.S)

品名(国連輸送名):CORROSIVE LIQUID, BASIC, INORGANIC, N.O.S.

クラス(Class):8

容器等級: I

海上規制情報:IMO の規定に従う

航空規制情報:ICAO/IATA の規定に従う

ADR に指定されている危険運搬物には該当しない。

国内規制:国内法に従う

破裂・損傷・容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法:該当しない

労働安全衛生法:該当しない

労働安全衛生法(有機溶剤等):該当しない

消防法:該当しない

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法):該当しない

高圧ガス保安法:該当しない

船舶安全法・危険則:該当しない

航空法・施工規則：該当しない

火薬類取締法：該当しない

海洋汚染防止法：該当しない

16. その他の情報

参考文献：製品安全データシートの作成指針(改訂版) 社団法人日本化学工業会

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。危険有害性の評価は、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。また記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象にしており、特殊な取扱いについては、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上お取扱い願います。さらにこの製品安全データシートの作成目的は製品の安全に関する情報を提供するものであり、性能品質を保証するものではありません。

EEC 危険性物質分類：Xn/F

R36/37：目、呼吸器官、皮膚の炎症を起こす危険性があります。

S 2：子供の手の届かないところに置くこと。

S7：缶の蓋はきちんと閉じておくこと。

S24/25：皮膚に直接かからないように注意すること。

S29：材料そのものを下水に放棄しないこと。

S37：手袋を着用すること。

改訂履歴

2017 年 6 月 28 日　GHS 分類表記に改訂／Ver.1.2